

岳連
ニュース

宝永

URL: <http://www.shizuokam.com>

(一社)静岡県山岳・スポーツクライミング連盟

422-8076

静岡市駿河区八幡3-1-17

TEL (FAX) 054-288-7512

編集発行/総務委員会

令和5年9月4日発行

第44号



少年男子ボルダー

国民体育大会東海ブロック大会が7月15日、16日にかけて、鈴鹿市のスポーツの杜鈴鹿運動公園（リード）および、四日市市のADDICT CLIMBING（オールド）にて実施されました。

静岡県では、成年女子に該当選手がおらず、少年男子、および少年女子のみの参加となりました。

初日のリードは、暑さの厳しい中、12mの外部の人工壁で行われました。壁にややパターンがあること（大きなホールドがつかない）、傾斜がそれほど無いことでセッターの苦勞がしのばれる壁で

少年女子国体出場決まる

国体東海ブロック大会

あつたと思います。



少年女子ボルダー

先に行われた少年女子では、静岡県のエースとなった永嶋が余裕で完登。続く、狩野も順調に高度を伸ばすが、飛ばして入った32ホールで振られてフオールし、三重に続く2位でのスタートとなった。

その後行われた、少年男子の堀岡は中間部までは思い切りよくテクニカルにこなし、最上部の傾斜のない部分に入るところでフオールで全体の5位、続く中学3年の舩越は、さらに手を伸ば



し、2位タイとなり、1日目は2位でのチームスタートとなった。

16日のボルダリングは、ADICTにて、少年男子が先に行われ、コーディネーション系の第一課題はともに完登したが、後の3課題は完登に至らず、4位となり、総合で3位となった。そのあと行われた少年女子では、バランス系の第一課題に苦戦し傾斜のある所のコーディネーション系で完登が出ず、完登は永嶋の2と狩野の1にとどまり2位となり、三重に続いて総合でも2位となり鹿児島県体への出場が決まった。

鹿児島県国体では、出場のかなわなかった愛知県少女の分も頑張つてほしいと思います。

リザルト

リザルト										ボルダー													
リード										個人成績						チーム合計					チーム 順位 ポイント		
種別	チーム 順位	県名	氏名	高度記 録	時間記録	順位	順位 ポイント	順位 ポ イント 総合	時間記 録合計	チーム 順位 ポ イント	TO P	ZO N E	TO P At.	ZO N E	順位	順位 得点	TO P	ZO N E	TO P At.	ZO NE At.	順位		
少年男子	1	三重	杉本 侑翼	40 +	3分11	1	1.0	1.73	6分8秒	1.00	4	4	6	5	1	1	7	8	14	14	1	1.0	
			小林 隼翔	35 +	2分57	2	3.0				3	4	8	9	2	2							
	2	愛知	今井 遙音	35 +	2分46	2	3.0	4.58	5分0秒	3.00	2	4	4	4	3	3	4	6	9	7	2	2.0	
			高橋 実来	28 +	2分14	7	7.0				2	2	5	3	4	4.5							
	3	静岡	堀岡 隼人	35	2分53	5	5.0	3.87	5分42秒	2.00	1	2	2	3	7	7	2	5	5	8	4	4.0	
			船越 琉生	35 +	2分49	2	3.0				1	3	3	5	6	6							
	4	岐阜	前田 唯月	22	1分49	8	8.0	6.93	5分5秒	4.00	1	2	3	4	8	8	4	8	7	3	3.0	3.0	
			荻堂 アラン学	30 +	3分16	6	6.0				2	2	5	3	4	4.5							
少年女子	1	三重	森 奈央	31	3分20	3	3.0	2.12	7分28秒	1.00	1	1	3	1	4	5	4	4	8	5	1	1.0	
			山 真奈実	TOP	4分8秒	1	1.5				3	3	5	4	1	1							
	2	静岡	永嶋 美智華	TOP	3分9秒	1	1.5	2.45	6分34秒	2.00	2	2	2	2	2	2	3	5	3	7	2	2.0	
			狩野 凪	30	3分25	4	4.0				1	3	1	5	3	3							
	3	岐阜	草分 こはる	22 +	3分25	5	5.0	5.48	4分27秒	3.00	1	1	3	1	4	4.5	1	2	3	2	3	3.0	
			寺町 優里	9 +	1分2秒	6	6.0				0	1	X	1	6	6							
		愛知	麦島 心花	DSQ								*						*				--	
			後藤 奈々	DSQ							*												

初級ヒマラヤ登山 積雪でナヤカン峰登山を断念

本年4月29日から5月17日までの19日間、ネパールのランタン谷ナヤカン峰(5844m)登頂を目的とした初級ヒマラヤ登山を実施した。

昨今ヒマラヤ登山を志す県内の若者は少なく、拘りを捨て他県に門戸を広げ参加者を募集した。県内から60代と70代の3名、岐阜県から30代、佐賀県から20代の若い参加者を得て、何とか登山隊員は5名になった。

経済不況と円安、長期休暇が取れない若者は海外登山のハードルが高く、記録に拘ることなく最低



限の日数で登れる山を選んだ。

ナヤカン峰は観光省が登山許可を出すエクスベ



ディションピークではなく、ネパール登山協会が登山許可を出すトレッキングピークなので登山料負担が軽減できる。トレッキングピークと聞くと簡単に登れる山のように思えるが、何度も登られた山を手続きだけ簡素化しただけで、難易度が低いと誤解してはならない。近年ヒマラヤは気候が安定せず、今年も天候が安定するプレモンスーン

季なのに入国したその日から数日間降雨に見舞われた。その雨が四千メートル以上は雪となり、何とかランタン谷のベースキャンプ(4200m)には辿り着けたが、本格的な登山を行うガンジャ・ラ(5130m)は峠直下のハイキャンプ(4960m)までの道が雪で閉ざされていた。偵察の結果、深い所で腰から胸までの積雪で雪崩の危険もあるため、ポーターによる荷上げが出来ず残念だがナヤカン登山を断念することになった。麓のギャンジンに下山後、

若い隊員に高所経験を経験を積んでもらうため、近くのツェルゴリ峰(4984m)に登ってもらった。プレモンスーン季には積雪のない山だが、今年は積雪に覆われ初めての隊員には満足してもらえなかったと思う。高所順応登山で登ったギャンジンリ峰(4400m)では山頂直下からロシア人登山者がリルン氷河側に滑落するのを目撃するなど衝撃的な場面もあったが、全員無事帰国できたことが何よりの成果であった。(国際委員長 出利葉義次)

浜松日体高男子 優勝 静岡高女子 優勝 東海総体 登山大会

6月16日、18日、第70回東海地区高等学校総合



静岡高男子

体育大会登山大会が静岡県御殿場市国立中央青少年交流の家で行われた。静岡県から、男子は静岡高校、浜松日体高校、女子は静岡高校、沼津東高校の4チームが出場した。1日目は開会式終了後、知識審査(自然観察、気象、救急、天気図)、装備審査、設営審査及び炊事審査が行われた。



静岡高女子

2日目はJR足柄駅を出発し、足柄峠を経由し金時山を越え長尾峠までのコースであった。このハイキングルートは足柄古道コースと地元では呼ばれている。金時山は箱根外輪山の最高峰でハイカーの人気の山である。選手はメインザックでの行動であり、この日は気温が高く、金時山手前には急登があり選手のスタ



静岡高男女

ミナや体調不良が心配された。しかし、全チームが問題なく長尾峠にゴールをした。

3日目は須走浅間神社から立山を経て三國山へ登り三國峠へ下りる。三國峠でゴールとなるが、監督と合流し鉄砲木ノ頭までの往復をパーテイで散策した。山頂は山中諏訪神社奥宮があり、富士山と山中湖の眺望が雄大である。

男子は浜松日体高校が、女子は静岡高校が優勝した。その他の静岡県勢の結果は、静岡高校男子が2位、沼津東高校女子が2位と大健闘だった。

【男子】1位 浜松日体	2位 静岡	3位 岡崎(愛知)	4位 桑名	5位 西尾	6位 四日市	7位 飛騨神岡(岐阜)
【女子】1位 静岡	2位 沼津東	3位 旭丘	4位 西尾	5位 四日市	6位 四日市	7位 農芸(三重)

(鈴木重幸)

山岳レスキュー講習会 ファーストエイド・ロープワーク等学ぶ

令和5年度山岳レスキュー講習会が6月18日静岡労働会館において開催された。今年度は初級と中級を統合して実施することとなった。実技講習は初級コースの希望者がほとんどで、中級コースは3名のみであった。

開会後、工藤講師から「登山における法律・パーティーマンバーとリーダーの役割」、小林講師から「登山のリスクとその対応」、大石講師から「ファーストエイド」について講義を受けた。内容は濃密であるが一部を書き出す



と、登山のリーダーは安全に配慮する責任があり、場合によっては法的責任が生じることもある。山での遭難は道迷いにはじまり、滑落・転倒・転落で8割を越えている。コロナ禍から山小屋の利用環境は変わった。ウィズコロナの新しいマナーに対応していかなければならない。登山計画書は遭難したときに威力を発揮するので、必ず提出すること。ファーストエイドの目的は、症状を悪化させずに医療機関につなげること。診断する必要がある。傷病者には「頑張らしよう」と声をかけることが大切と説明された。各々が手当法を身につけることにより、迅速な対応が可能になる。できることから身につけるようにしたい。

午後からは実技講習が行われた。ロープやカラビナなどの用具説明の後、初級2グループと中級1グループに分かれ、初級を石原講師・浅原講師と

高野講師、中級を工藤講師が担当した。私の参加した初級では「ロープを使った初歩レスキュー」を学んだ。簡易ハーネス（シートベルト）作り、ロープの結び方、確保・支点の構築、補助ロープの活用（悪場の通過）、搬送法などを実習した。予定時間まで熱心に取り組み、最後に講師から「自分と仲間の安全を確



富士高女子3度目の優勝 沼津東高男子3位 全国総体登山

「轟かせ 魂の鼓動 北の大地へ 大空へ」の大会スローガンのもと、令和5年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会が8月7日～11日にかけて北

保でできるよう練習を重ねて欲しい」との講評をいただき閉会した。

一度体験しただけでは忘れてしまい、なかなか身につかない。何度も練習し実践で使えるようにしたいものだ。

参加者は加盟団体から19名、個人会員3名、一般参加5名、講師6名、県岳連3名の計36名。

（大石幸男）

「轟かせ 魂の鼓動 北の大地へ 大空へ」の大会スローガンのもと、令和5年度全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会が8月7日～11日にかけて北

本県出場校の富士（女子）が4年ぶり3回目の優勝を果たした。沼津東（男子）は初出場で第3位と男女とも大健闘であった。

山域は北海道の最高峰である旭岳（標高2291m）を主峰とする大雪山系である。大会2日目は上ホロ・十勝岳縦走コース、3日目は黒岳・北鎮岳（ほくちんだけ）・裾合平（すそあいだいら）縦走コース、4日目は旭岳

コースであった。天候等の諸事情で、コースの短縮、審査の縮小等があったが、新型コロナウイルス感染症拡大前の大会が実施できた。

大会1日目は開会式を終え、天気図と課題テストが行われた。その後、東川町民運動公園に移動し、設営審査、炊事審査が行われた。2日目は天候等の諸事情によりコースが短縮され、十勝岳温泉登山口をスタートし、上富良野岳までのピストンのコースであった。また、メインザックでの行動を予定していたが男女ともサブ行動での行動と

なった。3日目は予定通り、黒岳ロープウェイ層雲峡駅をロープウェイで出発し、黒岳、北鎮岳、裾合平、旭岳ロープウェイ姿見駅までのコースをサブザックでの行動であった。4日目は、男女ともメインザックでの行動を予定していたが、女子のみ姿見池からサブザックでの行動となった。この日は、気温も非常に高く体調不良を訴える選手が続出した。

8月11日に閉会式が行われ、入賞チーム男子団体、女子団体それぞれ6位までが発表された。沼津東は男子団

大会結果（6位まで入賞）

男子団体	1位	岡山操山（岡山）	99.1
	2位	修猷館（福岡）	98.9
	3位	沼津東（静岡）	98.9
	4位	前橋（群馬）	98.7
	5位	膳所（滋賀）	98.6
	6位	盛岡第一（岩手）	98.5
女子団体	1位	富士（静岡）	99.5
	2位	千葉東（千葉）	99.4
	3位	長田（兵庫）	99.2
	4位	長崎北陽台（長崎）	99.2
	5位	盛岡第一（岩手）	98.8
	6位	池田（徳島）	98.5

津東は男子団
体で98.9点
を得し第3位、
富士は女子団
体で99.5点
を得し優勝を
果たした。
（鈴木重幸）

第1回理事会

日時 令和5年6月26日
(月) 18時30分～17時

40分

会場 静岡県男女共同参

画センター あざれあ

5F 第五会議室

出席者 理事 18名中15

名 監事 2名中1名

理事 木ノ内高嘉、内海

廣治、滝田博之、出利葉

義次、堀内 修、増田浩

二、望月喜久治、篠崎

勇、大石幸男、浅井 徹、

鈴木雅春、加藤敏美、小

林玲子、岩田幸裕、諸戸

明

監事 前川朝夫

司会 滝田事務局長 開

会を宣言し木ノ内会長兼

理事長の挨拶を求めた。

挨拶 木ノ内会長 5月

総会から連盟の事業がス

タートした。2年間理事

の皆さんと一緒に連盟の

運営を行うこととなるの

でよろしく願います。

若い人が入ってこない

ことや会員の高齢化で会

の運営が困難となるなど

多くの課題を抱えている。

ただ山へ行く人達の数は

大きく変わっていない。

一方、クライミング競技

の運営も厳しい状況。個人会員の拡大やクライミング指導者の育成にこの2年間力を注いでいきたい。

議長 木ノ内会長が議長

となり議事進行。

1 報告事項

(1)各委員会の報告

○指導・遭難対策委員会

・山岳レスキュー講習会

は、19開催、今年から初

級・中級を同日開催して、

午後からのロープレスキュー

は、初級・中級はクラス

分けでの実技講習を実施

した。

○競技委員会

・7/14に静岡県スポーツ協

会の体育章の贈与式が行

われることとなっており、

昨年の全国高校選抜SC

選手権で優勝した永嶋美

智華選手が受章する。

○国際委員会

・4月末から17日までネパ

ルヒマラヤ登山5に行っ

たが、結局天候不順で登れ

ず帰国となった。

・6月に福井県で全国の

国際委員会総会が開催さ

れた。各県単独での海外

遠征は困難な状況で、県

域を越えて海外登山を目

指す方向で活動する方針を定めた。

○木ノ内会長

・18日山協の総会が対面

で実施された。令和4年

度の事業報告、収支決算

報告が議案であったが、

9千5百万円の赤字決算

となり、その責任の所在

予算管理のルールとその

遵守ができていなかった

原因などが議論となった。

理事承認についても紛糾

し、1名の理事は、総会

で選任否決となった。

(2)各委員会の事業計画

○指導・遭難対策委員会

・夏山登山教室は28の座

学からスタートし、7/9山

伏実習山行、26座学、

7/27白山の登山を計画

している。

・山岳コーチ養成講習

会は5名の申込があり、

25座学講習から開催する。

・指導員研修会は、講師

の静大村越教授の都合に

より、来年1/21(土)に変

更。

○競技委員会

・7/15三重県で国体ス

ポーツクライミング競技

大会が開催

される。少年男子と少年女子が参加する。

○国際委員会

・本年度の活動計画で山

野井泰史を囲む会を計画

したが、本人からの固辞

の意向もある。現在、ピ

オレドール賞受賞の平出

和也氏、中島健郎氏をお

呼びして、10に講演会を

計画している。

2 協議事項

(1)個人会員について(木

ノ内会長)

・連盟の令和5年度個人

会員は、継続委員が11名

新規委員2名。新規会員

は理事会の承認事項とな

る。異議なく理事会承認

(2)国体東海ブロック大会

静岡県選手団について

(木ノ内会長)

・7月三重県で開催され

るブロック大会への選手

団の選手については、既

に理事会で承認されている

が、今回は少年男子監督

諸戸氏、少年女子監督伊

藤氏を提案する。

異議なく理事会承認

(3)令和6年県連カレン

ダー(滝田事務局長)

・今までの世界の名峰か

ら山の四季に内容を変更

し、200部を作成すること

とした。販売価格は1500円を予定している。

(5)その他

・南アルプス写真展を県

内山岳4団体が10/31から

11/5、

静岡市役所1階市民ギヤ

ラリーで開催、今年は、

県連盟と市岳連が担当。

搬入搬出については便宜

を図るので、一つでも多

くの作品の出版を要請す

る。

・本県の山岳4団体で各

団体2、3人のメンバー

を選出して、南アルプス

の自然保護について話し

合う会を設けることとな

った。山の団体で構成され

る県連盟と市岳連は、登

山に関する自然保護、ゴ

ミヤストックのキャンプ、

高山植物、山小屋を範疇

としているが、他団体は

リニア問題や国立公園拡

張の内容を議論しようとし

ている面がある。

・クライミングジム「ク

リオ」から小学生のボル

ダリング大会を連盟が主

体的な運営で実施できな

いかと要望があり、以前

の理事会では、結論を出

していない。競技委員会

の理事からは、「選手強

化の面では実施したいが、現在の体制では主体的に実施するのは無理」との意見あり。賞状だけでは問題があると考える。

・静岡新聞の「山ある記」

の原稿については9月末

までのものは揃っている。

今後理事が出ていない会

員団体へも執筆を依頼し

ていく。4月分の原稿料

は届いたので、千円を連

盟の事務費として差し引

いたうえで、個々に配分

する。

・南アルプス国立公園の

拡張について、地主の

「十山」としては、規制

がかかる国立公園区域に

なることの企業としての

メリット、デメリット、

山や自然という企業の資

産・価値を守ることなど

色々な課題があるようだ。

(鈴木雅春)



クロユリ